

1 現施設について（※第1回～第3回部会で議論済み）

（1）現施設の概要

- ・ 開設年月日 … 1988（昭和63）年11月1日
- ・ 所在地 … 川崎市中原区等々力1番2号
- ・ 構造 … 鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 規模 … 地上3階地下1階
- ・ 敷地面積 … 25,358㎡
- ・ 建築面積 … 8,386㎡
- ・ 延床面積 … 19,542㎡



市民ミュージアム現施設

（2）現施設が抱える課題について

現施設は、築30年以上が経過し、経年劣化の影響による雨漏り、壁面タイルの剥がれは頻繁に発生していたことから、建物の長寿命化を目的とした大規模な屋上防水・外壁改修工事を2022（令和4）、2023（令和5）年度で実施を予定していた。その他にも、中央監視システム、自動火災報知設備、受変電設備、昇降機設備、逍遙空間・映像ホール吊物機構、シャッター設備などの改修・更新工事も順次実施する予定であった。

2019（令和元）年10月12日に発生した令和元年東日本台風により、市民ミュージアムの地階に大量の雨水が流入し、甚大な被害を受けた。地階には機械室、電気室、発電機室等の主要な設備室が設置されていたため、館内の電気設備等が使用不能となり、現在は館外に仮設キュービクル（受変電設備）を設置し、必要最小限の電力を供給している状況である。

2020（令和2）年2月に躯体の劣化状況等の調査を実施したところ、調査箇所の一部でコンクリートの中性化の進行があり、鉄筋の腐食も一部で確認されているが、躯体全体の状況を確認するためには、より詳細な調査が必要とされ、また、地階の機械室や収蔵庫等を上階に移設するには再構造計算を要し、機械室となる場所の展示室等をどこに移すかなど施設全体の機能配置など再検討も必要になるため、本格的な改修設計が必要になるとの結果が報告された。

（3）現施設の立地について

現施設は、川崎フロンターレのホームグラウンドでもある陸上競技場や、バスケットボールやバレーボールの国際試合が可能なアリーナの他、硬式野球場、テニスコートなどのスポーツ施設が集中している等々力緑地内に設置されている。

2018（平成30）年に改定された川崎市洪水ハザードマップ（多摩川水系）では、現施設は想定浸水深が5～10mの場所に位置しており、最大の浸水を想定すると現施設の2階まで浸水するおそれがある。

（4）現施設の復旧について

現施設の復旧に係る工事費用については、概算で約25億8千万円（収蔵庫等を3階に上げるなどの浸水対策を含まず）を見込んでいる。また、現施設の構造耐力上、収蔵庫等を3階に上げることは困難である。

（5）あり方検討部会での検討経過について

現施設のあり方について、あり方検討部会では次のとおり検討を行った。

部会	検討内容・結論
第1回	現施設についての課題を共有するとともに、現地視察を実施し、実際に被災状況や収蔵品レスキュー作業等を確認した。
第2回	現地視察を踏まえ、現施設の活用や収蔵庫の設置等について検討を行うとともに、現施設を活用した場合の整備手法について確認し、「 収蔵品に関しては、現在地で扱うことは困難である 」との結論を出した。
第3回	収蔵庫と展示室を離れた場所に整備した国内の博物館及び美術館の事例調査により、そのメリット及びデメリットを整理するとともに、現施設への増築や等々力緑地外への移転を仮定した施設整備手法及び課題について確認し、「 被災リスクの少ない場所で、収蔵庫と展示室を同じ施設内に整備することが望ましい 」という意見とともに、「 等々力緑地では収蔵庫の設置だけでなく、展示等を行う等の博物館及び美術館の運営は難しい 」との結論を出した。
第4回	事務局から庁内における現施設の利用希望調査の結果（庁内での利用希望なし）及び現施設を除却する方向で調整している旨の報告を受けた。

2 新たな施設について

（1）新たな博物館、美術館の規模感等

○ 施設の規模感等

- 【委員】・ 現状のミュージアムの人員体制等を総合的に考えると、規模が大きすぎる。
- ・ 現施設の規模の確保は前提条件ではないので、現施設の規模にとらわれて立地条件等を考える必要はない。
 - ・ 展示室の規模についても適切に設定していく必要がある。
 - ・ 新たなミュージアムには、現施設の規模の空間は必要ではない。
 - ・ 形状がCの字であるため、展示室が湾曲しており、必ずしも使いやすいとは言えない。遊びの空間もできてしまっている。

（2）新たな博物館、美術館の立地条件

あり方検討部会での議論や市民アンケート等の結果を踏まえ、新たなミュージアム（博物館、美術館）の立地条件について次のとおり整理した。（【委員】…あり方検討部会の意見 【市民】…市民アンケートで寄せられた意見）

◎ 浸水の恐れのあるエリアや土砂災害警戒区域等を避けた立地

- 【委員】・ 現施設の場所は、立地としてふさわしいか疑問 ・ 等々力緑地で博物館、美術館の運営は難しい
- 【市民】《質問 あると良い機能（展示室以外）》
- ・ 災害から収蔵品を守る ・ 被害を最小限に抑えられる ・ 災害時の避難場所

○ 多くの市民が利用しやすい、アクセスのよい立地

- 【委員】・ 交通の便、市民の使い勝手の良い場所 ・ 施設の障壁を下げるならアクセスのよい場所
- 【市民】《質問 来館にあたって重視すること》
- ・ 施設までの所要時間や交通手段（35.9%）
 - ・ 施設までの所要時間や交通手段（その他意見） ・ 行きやすいかどうか（その他意見）
 - ・ 公共交通機関をすぐに利用できる場所（障がい者の方からの意見）

○ 大きな公園など緑が多い環境

- 【市民】《質問 あると良い機能（展示室以外）》
- ・ 緑豊かで開放感のある屋外環境や広場（51.8%） ・ 自然を感じるくつろげる場所（その他意見）
 - ・ 庭園・自然を感じたい（その他意見） ・ 屋外展示（その他意見）
- 《質問 来館にあたって重視すること》
- ・ 建物全体の雰囲気や周辺の環境（27.5%）
 - ・ 公園や緑のある空間（中高生意見） ・ 緑が多くある森林（中高生意見）

○ 他の施設（文化施設、学校等）と連携が取りやすい立地

- 【委員】・ これまでの学校連携など評価 ・ 若い世代、子育て世代との連携・協働が必要
- 【市民】《質問 あると良いと思う企画展》
- 〔博物館〕・ 川崎市ゆかりの企業との協働（42.0%） ・ 商店街や文化施設と連携（33.4%）
 - 〔美術館〕・ 歴史とアート作品（25.9%） ・ 美術系大学や出版社・映画会社などの協働（25.8%）
- ※ その他取り組むべき活動に、企業連携や学校での地域学習サポートへの意見あり

○ 駐車場スペースが確保できる立地

- 【市民】《質問 来館にあたって重視すること》
- ・ 駐車場があるかどうか（その他意見）

○ 近隣にカフェやレストラン等がある環境

- 【市民】《質問 来館にあたって重視すること》
- ・ 近隣にカフェやレストランが充実している（その他意見）

○ 市外からの観光客も気軽に立ち寄れる立地（最寄り駅から近く、賑わいの創出につながる立地）

- 【市民】《質問 あると良いと思う機能（展示室以外）》
- ・ エンターテインメント性があるとよい（その他意見） ・ 観光スポットになるような企画（その他意見）